## 「ファリサイ派とサドカイ派のパン種」　　2017年06月03日

**マタイ福音書16章5節～12節**　弟子たちは向こう岸に行ったが、パンを持って来るのを忘れていた。イエスは彼らに、「ファリサイ派とサドカイ派の人々のパン種によく注意しなさい」と言われた。弟子たちは、「これは、パンを持って来なかったからだ」と論じ合っていた。イエスはそれに気づいて言われた。「信仰の薄い者たちよ、なぜ、パンを持っていないことで論じ合っているのか。まだ、分からないのか。覚えていないのか。パン五つを五千人に分けたとき、残りを幾籠に集めたか。また、パン七つを四千人に分けたときは、残りを幾籠に集めたか。パンについて言ったのではないことが、どうして分からないのか。ファリサイ派とサドカイ派の人々のパン種に注意しなさい。」そのときようやく、弟子たちは、イエスが注意を促されたのは、パン種のことではなく、ファリサイ派とサドカイ派の人々の教えのことだと悟った。

主イエスは舟に乗って弟子たちと共に向こう岸に行ったが、弟子たちはパンを持って来るのを忘れていた。主イエスは、「ファリサイ派とサドカイ派の人々のパン種によく注意しなさい」と言われた。よく、聞き取れなかったのであろうか、パンという言葉だけが、耳に残った。弟子たちは、「これは、パンを持って来なかったからだ」と論じ合った。主イエスは弟子たちの誤解に気づき、「信仰の薄い者たちよ、なぜ、パンを持っていないことで論じ合っているのか」と、パンの不携帯を問うているのではないと言われた。そして、「まだ、分からないのか。覚えていないのか。パン五つを五千人に分けたとき、残りを幾籠に集めたか。また、パン七つを四千人に分けたときは、残りを幾籠に集めたか。パンについて言ったのではないことが、どうして分からないのか。ファリサイ派とサドカイ派の人々のパン種に注意しなさい」と畳みかけた。パン5つを5千人に分けた時、パン屑は12籠残った。パン7つを4千人に分けた時は、パン屑は7籠残った。パンは必要に応じて、与えられる。パンのことを言ったのではない。ファリサイ派とサドカイ派の教えが広まることを危険であると指摘されたのである。

ファリサイ派の人々は、旧約聖書の律法と先祖の言い伝えを研究し、それを民衆に教え、ユダヤ教徒として正しい生活をするように導く宗教家たちであった。彼らは律法と先祖の言い伝えに基づき膨大な宗教体制を築き上げた。それは、律法を守る者を「浄」とし、守れないものを「不浄」とする、神の名による管理差別体制であった。彼らは宗教的権威の上に君臨していた。民衆は律法に縛られ、生活が拘束され、意気阻喪していた。ファリサイ派の人々は律法を形式的に守り、真実の愛からはほど遠い偽善的な振る舞いをしていた。もちろん、良心的な人々がいたことも、福音書は伝えている。

サドカイ派の人々は、エルサレム神殿に仕える世襲の祭司たちである。エルサレム神殿は、荘厳で権威ある大神殿で、ローマ支配の屈辱を晴らす、ユダヤ人の唯一の誇りであった。神殿を牛耳り、民の罪の贖いを司る彼らは貴族階級のエリート集団であった。

主イエスは、ファリサイ派とサドカイ派のパン種に気をつけなさいと、彼らがまき散らす罪と悪に警戒し、巻き込まれてはならないと諭したのである。弟子たちは、パンのことではなく、両派の宗教家たちの邪悪さに気付くように語ったのだと悟った。

宗教家の堕落は周りに甚大な被害を及ぼす。主イエスは彼らの権威主義と偽善を暴かれた。神に是認され個々人の命の尊厳を回復することが福音であったからである。